



# 福島医大病院ニュースレター

編集・発行/附属病院患者サービス向上委員会

〒960-1295 福島市光が丘1番地 / TEL (024) 547-1111 ホームページ <http://www.fmu.ac.jp/byoin/index.php>

## 小児・AYA がん長期支援センターが開設されました



### 小児・AYA がん長期支援センター 部長 菊田 敦

小児・AYA (Adolescent and Young Adult: 思春期・若年成人) 世代のがんは乳幼児から若年成人までの幅広い年代に発症し、治療終了後も成長過程とそのライフイベントのなかで様々な晩期合併症を抱えて生活しています。また、各年代により必要とされるニーズは多様であり、成人がんとは異なる医療、支援が求められています。国もまた、小児・AYA世代のがん患者の長期フォローアップについて、身体的晩期合併症への対応、保育・教育・就労・自立・社会的課題・生殖機能等に関する支援の必要性とライフステージに応じた成人診療科との切れ目のない支援体制の整備の推進を求めています。本センターの開設により、多分野多職種による情報共有と、きめ細やかな

ケアにより患者のADLとQOL向上が図られます。

このように成人診療科との共通認識のもとに、有機的な連携を保ちながら診療体制を整備したのは国内初であり、小児・AYA世代のがん患者に必要とされる医療と支援に貢献することが期待されます。

#### ・目的

- 1) 治療後の身体的晩期合併症に対する評価と治療・フォローアップを行います。
- 2) 心理社会的晩期合併症に対する評価と支援、特に教育・就労・自立に向けた支援、その他必要とする支援を行います。
- 3) 生殖医療 (情報提供と相談支援、妊孕性温存 (精子保存、卵子保存)

性腺障害と妊孕性低下に対する温存治療) を行います。

#### ・対象

小児・AYA世代の治療を終了したがん患者。概ね15歳以上を対象とする (~50歳)。

・診療日: 火曜日午後、木曜日午前、午後

・診察室: みらい棟2階「小児・AYAがん長期支援センター」

#### ●スタッフ紹介

部長	菊田 敦	教授	小児腫瘍内科	
副部長	高橋俊文	教授	ふくしま子ども・女性医療センター	生殖医療分野
	鈴木 悟	教授	甲状腺内分泌内科	内分泌分野
	石田隆史	教授	循環器内科	循環器分野
医師	伊藤正樹	非常勤講師	公立相馬病院、小児腫瘍内科	
	小宮ひろみ	教授	性差医療センター	
	緑川早苗	准教授	放射線災害医療センター (内分泌)	
	小川総一郎	講師	泌尿器科	
	菅沼亮太	講師	産婦人科	
	調整中		糖内代謝内科	
	藤井正純	准教授	脳神経外科	
	佐野秀樹	准教授	小児腫瘍内科	
	望月一弘	講師	小児腫瘍内科	
歯科医師	小林正悟	学内講師	小児腫瘍内科	
	長谷川博	准教授	歯科口腔外科	
言語療法士	二村美也子	副主査	リハビリテーション科 (認知機能)	
看護師	安斎 紀	副看護部長	看護部	HCTC
	白湯美千代	副主任看護技師	看護部	HCTC
	古橋知子	准教授	看護学部	CNSCHN
相談員	森千香子	医療相談員	患者サポートセンター	PSW
スーパーバイザー	水沼英樹	センター長	ふくしま子ども・女性医療センター	
	横谷 進	センター長	甲状腺内分泌センター	
	大槻孝昭	分校長	須賀川支援学校医大校	



2018年12月1日設立、2019年5月7日開設

### 第47号のなかみ

- 1 ページ... ○小児・AYAがん長期支援センターが開設されました
- 2 ページ... ○福島市「中学生ドリームアップ事業職場体験活動(2年生)」を実施しました  
○高校生の一日看護体験
- 3 ページ... ○リレー・フォー・ライフ・ジャパン福島2019を終えて  
○「パンダハウス」チャリティバザーが開催されました
- 4 ページ... ○病院ボランティア「けやきの会」会員の皆さまへ感謝状を贈呈しました  
○敷地内は全面禁煙です！

マチのほっとステーション  
**LAWSON**

ローソン福島県立医科大学附属病院店 (エレベーターホール隣)  
ローソン福島県立医科大学店 (7号館内)



福島市太平寺 スキップフロアの家

UNNO HOUSE ☎ 0120-36-1131

ワンハウス 検索

## 福島市「中学生ドリームアップ事業職場体験活動（2年生）」を実施しました

当院は、毎年福島市が主催している「中学生ドリームアップ事業職場体験活動（2年生）」の受入先となっており、今年は8名の中学生が職場体験に訪れました。

各職種の役割やチームワークの大切さについて学んでもらうため、看護部、臨床工学センター、検査部、栄養管理部、救急外来、ドクターヘリで体験活動していただき、生徒たちからは「病院で働いていて大変なことはなんですか」「病院で働く上で必要な心構えを教えてください」といった質問があり、熱心に取り組んでいました。

「医療者になりたい夢が膨らみました」という感想もあり、職場体験をきっかけに医療に関心を持っていただきたいと思います。

### 【時期・学校名】

7月9日(火)～11日(木)

福島第一中学校、松陵中学校

8月27日(火)～29日(木)

飯野中学校



## 高校生の一日看護体験

看護部 渡部智恵子

毎年福島県看護協会では、高校生（1年生、2年生、3年生）を対象に県内各地の施設に「高校生看護一日体験」事業を実施しています。この事業は、人口の高齢化および医療の高度化とともに看護の社会的需要が高まる中で、21世紀を担う高校生に「看護体験」を通して、看護の仕事は人々の生命を守る大切な仕事であることの理解を深め、看護に対するイメージを持つことにより、看護への関心を高めることを目的としています。今年も医大病院では28名の高校生を受け入れました。

午前中は、各病棟で看護師とともに看護ケアの見学、移送などを体験し、看護師の仕事について、積極的に質問をしていました。午後は病院の各所属（薬剤部、検査部、リハビリ室、放射線部、ヘリポートなど）の見学をしました。

最後に、参加した高校生と病棟の看護師と意見交換会を行いました。活発な意見交換が行われ、「コミュニケーションが大事」「チームワークの大切さを学んだ」

「ますます看護師になりたいと思った」などの感想が聞かれました。終始和やかな雰囲気の中で終了することができました。最後の当院看護部の渡邊 美恵子部長の「看護師の仕事で一番大切なことは患者さんの病気だけをみるのではなく、生活全体を支えるという視点」という言葉に、多くの生徒さんが頷いていました。今後看護職への進路を選択してくれることを期待しています。



## リレー・フォー・ライフ・ジャパン福島2019を終えて

リレー・フォー・ライフは、がん患者や家族、その支援者らが公園やグラウンドを会場に、交代で24時間にわたって歩き、がん抑圧への願いを新たに深めようというチャリティーイベントです。福島では2010年に医大グラウンドで1回目を開催し、今年で10年目を迎えました。今年は8月11日12日に「あづま総合体育館」を会場に開催しました。12日のオープニングのサバイバズラップでは、サバイバーを多くの参加者が拍手で祝福しました。その後はリレーウォークと並行して音楽やダンスなどのイベントが行われ、夜には亡くなった方を偲ぶルミネリエセレモニーが行われました。12日の閉会式後には実行員と参加者のハイタッ

チで来年の再会を約束しました。8月23日（金）には医大正面玄関でルミネリエサテライトを開催しました。入院中の患者さまやご家族が参加され、コーラスや演奏に癒された素敵な時間が流れました。また、今年は本大会1週間前より東邦銀行医大支店の皆様がリレー・フォー・ライフ・ジャパン福島のオリジナルTシャツを着用してくださったり、大学、病院、関係者の皆様からのご理解が年々深まっていることを感じています。



## 「パンダハウス」チャリティバザーが開催されました

8月6～7日の2日間、医大病院玄関ホール及びみらい棟通路において「認定NPO法人パンダハウスを育てる会」によるチャリティバザーが開催されました。会員による手作りバックや小物、アクセサリなどが展示され、大勢の方にご来場いただき盛況のうちに終了いたしました。

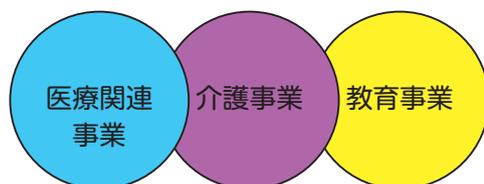
「パンダハウス」は医大病院に入院している患者さんとその家族に心安まる時間を提供し、もうひとつの我が家として広くご利用いただいております。「パンダハウス」の運営は、会員会費、今回実施されたバザー収益、一般の方からの募金、ボランティアによるサポートによって行われています。今後とも「パンダハウス」

へのご理解をいただきますようお願いいたします。

なお、次回のチャリティバザーは令和元年12月頃を予定していますので、是非お立ち寄りください。



### 全国展開するニチイの3つの事業



### 株式会社 ニチイ学館

福島市栄町6-6 UNIXビル3F  
Tel.024-524-2835 Fax024-522-0306



## 病院ボランティア「けやきの会」会員の皆さまへ感謝状を贈呈しました

過日、鈴木弘行病院長より病院ボランティア「けやきの会」会員の皆さまへ、日頃の活動への感謝の意を込めて感謝状を贈呈しました。

会員の皆さまは、毎朝欠かすことなく、外来患者さんの受診受付のお手伝いや、車椅子移動の介助、院内の案内などのボランティア活動をしてくださっています。

会員の皆さまの親身な対応と素敵な笑顔は患者さんからも大変好評であり、当院にとって欠かすことのできない存在となっています。

また、2001年の会設立から長年にわたり、患者さんに対して、暖かく思いやりを持って接していただいていることが、患者さ

んの安心感、さらには当院への信頼感にもつながっているものと考えています。改めて感謝申し上げますとともに、今後ますますのご活躍をご期待申し上げます。



## 敷地内は全面禁煙です！

本年7月1日から、健康増進法により学校及び病院等の敷地内禁煙が義務化されました。

本学では、これまでも敷地内禁煙を標榜し、職員への指導、患者さんや面会のご家族などにもご協力をお願いしてまいりましたが、今回の法改正を機に、なおいっそうのご協力をお願いいたします。

- ◆大学、附属病院を問わず敷地内は全面禁煙です。
- ◆敷地内に駐車した車内でも喫煙できません。
- ◆加熱式たばこや電子たばこも使用禁止です。
- ◆周辺道路での禁煙にもご協力ください。



**禁煙**  
No smoking

### スターバックスコーヒー福島県立医科大学附属病院店

**営業時間** 平日 7時～20時  
土日祝 9時～19時

アメリカ シアトル生まれのスペシャルティコーヒーストア。  
高品質のアラビカ種コーヒー豆から抽出したエスプレッソがベースのバラエティ豊かなエスプレッソドリンクやバスター、サンドイッチをお楽しみいただけます。



すべてを地域のために

# 東邦銀行

ご利用・お問い合わせは **福島医大病院支店**

窓口営業時間：平日午前9時から午後3時

電話 024-548-5331 (受付時間：平日午前9時から午後5時)